

令和3年度【第1回】

在宅医療ステップアップWEB研修会

『認知症患者の在宅ケアと

薬剤管理の問題点』

けや木薬局

矢田部浩一

## 【患者情報】

氏名：A・Kさん    年齢：84歳    性別：女性

主病名：高血圧症

家族構成：夫と二人暮らし

性格：明るく社交的

介護保険：要支援2（包括）

※詳細は事前配布資料を参照

Q1. 今回の初回訪問で薬剤師は、  
どのようなことに目を向け、  
どのようなフォローをするべき  
でしょうか？

# 検討1

## 押さえたいポイント

- ①介護サービス利用状況
- ②生活状況の観察
- ③ADLチェック
- ④服薬管理状況の確認
- ⑤フィードバック

# 検討1

## 押さえたいポイント

### ①介護サービス利用状況

担当**ケアマネジャー**から情報を収集  
→事前に現況を把握しておくことで、  
初回訪問を円滑にすることができる

# 検討1

## 押さえたいポイント

### ②生活状況の観察

- ・**部屋の様子**: 掃除は? ゴミは?
- ・**着衣状況**: 同じ服? 洗濯は?
- ・**屋内屋外の構造**: 段差、急な階段
- ・**人手の把握**: 家族親族、近隣の協力

# 検討1

## 押さえたいポイント

### ③ADLチェック

- ・ **食事** : 1日何食？何をどのくらい？
- ・ **排泄** : 頻尿？便秘？
- ・ **睡眠** : 不眠？介護ベッド？
- ・ **認知機能** : 昨日の食事、家族の名前

# 検討1

押さえたいポイント 

## ④服薬管理状況の確認

× : 患者・家族の理解度ばかり優先

○ : 薬剤師が客観的に

正しく把握すること



## 検討1

薬剤師が客観的に正しく把握  
すること、とはどういうことか？

必ず【4W1H】で確認する

いつ、どこで、誰が、何を、どんなふうに

- ・飲んでしているか？
- ・飲ませているか？
- ・管理しているか？

## 検討1

薬剤師が客観的に正しく把握  
すること、とはどういうことか？

- ・いつ: 1日何回? 朝? 夜?
- ・どこで: 居間? ベッド? 保管場所は?
- ・誰が: 本人が? 家族が? ヘルパーが?
- ・何を: 錠剤? 散剤? 何種類?
- ・どんなふうに: オブラート? トロミ剤?

## 検討1

薬剤師が客観的に正しく把握すること、とはどういうことか？

『服薬管理状況』は良・悪の二択ではなく、必ず【4W1H】で把握し、記録する。その情報を他職種間で共有する。

# 検討1

押さえたいポイント 

## ④服薬管理状況の確認

原則：薬はヒートで本人任せにしない

※**一包化**で対応する

印字：【氏名・用法・薬剤名・**服用日**】

管理：お薬カレンダー

# 検討1

## 押さえたいポイント

### ⑤フィードバック

#### チーム内で共有すべき情報

- 1、訪問後に感じた情報差異や違和感
- 2、服薬・管理に関する4W1Hの記録
- 3、疑義案件や提案事項

# 検討1

## 押さえてたいポイント

### ⑤フィードバック(疑義案件や提案事項)

- ・認知機能低下リスクを有する薬剤

(抗精神病薬、BZ系睡眠薬・抗不安薬、  
三環系抗うつ薬、パーキンソン病治療薬)

- ・認知機能テスト(長谷川式、MMSE)

# 参考

## 長谷川式認知症スケール(改訂版)

 **9つ**の評価項目で採点し、**30点**満点で構成

1、年齢

6、数字の逆唱

2、日時の見当識

7、言葉の遅延再生

3、場所の見当識

8、物品記銘

4、言葉の即時記憶

9、言語の流暢性

5、計算

# 参考

## 長谷川式認知症スケール(改訂版)

👉 **20点以下**の場合、認知症の可能性が高い

👉 重症度別平均点

- ・非認知症: 24.3点
- ・軽度認知症: 19.1点
- ・中等度認知症: 15.4点
- ・やや高度認知症: 10.7点
- ・高度認知症: 4.0点



# 検討1

押さえたいポイント 

認知症患者の在宅介入時に重要なこと 

薬物療法 < 療養生活の改善

Q2. 長期にわたり認知症患者の在宅  
ケアを続ける上で、薬剤師として  
どのような点を問題視しますか？  
また、その解決策も挙げてみて  
ください。

## 検討2

# 長期ケアの問題点

- ・家族の介護疲労
- ・ADLの変化
- ・他疾病の併発
- ・ポリファーマシー
- ・薬剤の漫然投与
- ・過少医療の懸念

## 検討2

# 長期ケアの解決策

- ①情報共有の更新
- ②本人・家族の意思決定支援
- ③薬剤の見直し

## 検討2

# 長期ケアのポイント

- ・体調の変化は**微細な兆候**として現れるので、患者・家族との会話を軽視しないこと。
- ・今後の**選択肢**を想定して備える。

本日はありがとうございました

患者さんやその家族が  
『人生はつらいもの』として  
終わりを迎えないように、  
自分が悔いを残さないように、  
『今』を全力で支える